

**2022年3月期 決算説明
新中期経営計画 発表**



カーリットホールディングス株式会社

CODE : 4275

- 2022年3月期 決算概要
- 2023年3月期 通期見通し

取締役 谷内 俊文

- 新中期経営計画「Challenge2024」

代表取締役社長 金子 洋文

2022年3月期

決算概要

※第1四半期より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等”を適用したと仮定して算定した参考値

(単位：百万円)	2021年3月期	2022年3月期	差異
	実績※	実績	増減率
売上高	29,631	33,894	+4,262 +14.4%
売上原価	22,001	25,246	+3,244 +14.7%
販売費及び一般管理費	6,055	6,140	+85 +1.4%
営業利益	1,574	2,506	+931 +59.1%
経常利益	1,770	2,742	+972 +54.9%
純利益	1,231	2,336	+1,105 +89.8%

化学品事業部門での製造不具合
支払補償費139
受取保険金96

特別利益 負ののれん392 投資有価証券売却益108
特別損失 固定資産売却損22 固定資産除却損215

※第1四半期より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等”を適用したと仮定して算定した参考値

	売上高			営業利益		
	2021年3月期 実績※	2022年3月期 実績	差異	2021年3月期 実績	2022年3月期 実績	差異
(単位：百万円)						
化学品	15,576	16,950	+1,374	744	1,172	+428
ボトリング	4,239	4,360	+121	77	218	+140
産業用部材	7,627	9,313	+1,686	230	654	+42
エンジニアリング サービス	2,802	4,173	+1,370	390	892	+502
報告セグメント計	30,245	34,798	+4,552	1,442	2,937	+1,494
連結合計	29,631	33,894	+4,262	1,574	2,506	+931

【化学品事業部門】

産業用爆薬	↘	土木向けの不調、原材料価格高騰で減収減益
自動車用緊急保安炎筒	↘	車検向けは車検在庫数の増加、ガラス破壊具付きへの切替促進で増販 新車向けは自動車減産で減販、原材料等の費用増加で減収減益
高速道路用信号焰管	↗	交通量の回復を受けた需要の増加で増収増益
煙火関連	↗	花火大会の一部開催で増収増益
宇宙産業	—	固体推進薬の開発を顧客と共同進行中。フライト品製造に向けた開発を進める
受託評価試験	↗	電池開発の活況継続で増収増益
塩素酸ナトリウム	↘	紙需要の回復で増収。 一方で海外輸送停滞により国内輸送の調整費用が増加し大幅な減益
亜塩素酸ナトリウム	↘	殺菌用途における顧客の減産で減収減益
過塩素酸アンモニウム	↘	H-Ⅲロケットの打ち上げ延期の影響で大幅な減収減益
過塩素酸	↗	需要の増加で増収増益
電極関連	↘	価格改定とスポット需要の増加で増収。一方で原材料価格の高騰等により減益
電子材料関連	↗	パソコン・通信機器の需要増加および5G関連への採用で増収増益
機能材料関連	↗	オフィス複合機向けの需要回復で増収増益
セラミック材料	↗	半導体向け需要増加および顧客の在庫確保で大幅な増収増益

【ボトリング事業部門】

ペットボトル飲料	↘	顧客の在庫調整で減収減益
缶飲料	↗	生産の効率化で増収増益
委託品	↗	炭酸飲料の増加で増収増益

【産業用部材事業部門】

シリコンウェーハ	↗	半導体の需要拡大傾向の継続で増収増益
		各種センサー・マイクロフォン等に使用のMEMS（微小電気機械システム）向けの高平坦度ウェーハ販売開始
耐熱炉内用金物	↗	主製品であるアンカーの回復で増収増益
ばね・座金製品	↗	自動車の減産影響はあったものの、建機向けの好調継続で大幅な増収増益

【エンジニアリングサービス事業部門】

建築・設備工事	↗	グループ内取引の解体工事により増収増益
塗料販売・塗装工事	↗	塗料販売の増加、新規塗装アイテムの獲得および大型設備のスポット受注で大幅な増収増益
構造設計	↗	収益性の高い物件の増加で増収増益

2023年3月期 通期見通し

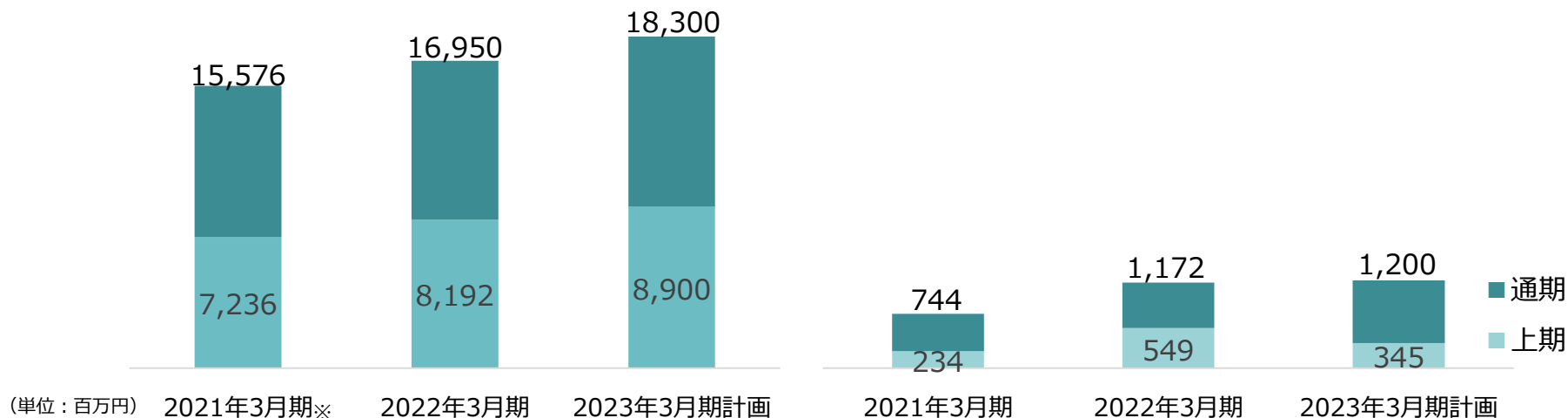
(単位：百万円)		2022年3月期 実績	2023年3月期 予想	差異	増減率
		売上高	上期 16,006	17,000	+993
	通期 33,894	35,000	+1,105	+3.3%	
営業利益	上期 1,039	700	△339	△32.7%	
	通期 2,506	2,500	△6	△0.3%	
経常利益	上期 1,137	800	△337	△29.7%	
	通期 2,742	2,700	△42	△1.6%	
当期純利益	上期 1,020	550	△470	△46.1%	
	通期 2,336	1,900	△436	△18.7%	
期末配当	1株当たり	16円	16円	—	—

	売上高			営業利益		
	2022年3月期 上期実績	2023年3月期 上期計画	差異	2022年3月期 上期実績	2023年3月期 上期計画	差異
化学品	8,192	8,900	+708	549	345	△204
ボトリング	2,176	2,250	+74	15	△35	△50
産業用部材	4,522	4,750	+228	288	255	△33
エンジニアリング サービス	1,434	1,900	+466	194	215	+21
報告セグメント計	16,326	17,800	+1,474	1,048	780	△268
連結合計	16,006	17,000	+994	1,039	700	△339

	売上高			営業利益		
	2022年3月期 通期実績	2023年3月期 通期計画	差異	2022年3月期 通期実績	2023年3月期 通期計画	差異
化学品	16,950	18,300	+1,350	1,172	1,200	+28
ボトリング	4,360	4,480	+120	218	270	+52
産業用部材	9,313	9,520	+207	654	620	△34
エンジニアリング サービス	4,173	4,340	+167	892	530	△362
報告セグメント計	34,798	36,640	+1,842	2,937	2,620	△317
連結合計	33,894	35,000	+1,105	2,506	2,500	△6

【売上高】

【営業利益】



※第1四半期より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等”を適用したと仮定して算定した参考値

自動車向け発炎筒の回復は限定的

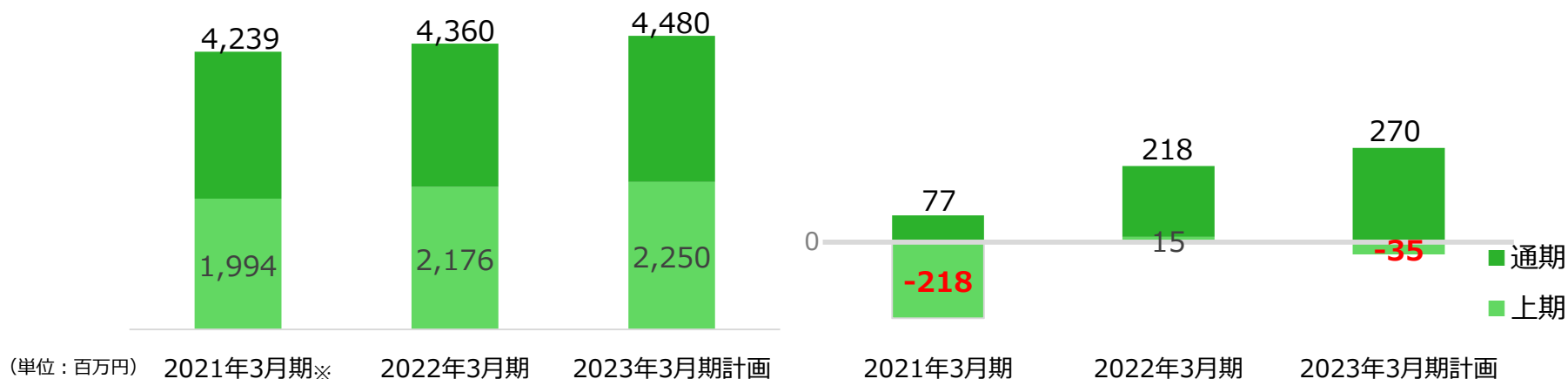
電子機器・5G関連材料・半導体研磨用途の需要旺盛

電池開発の活況継続による受託評価分野の堅調

原材料・エネルギーコストの高騰を反映した価格改定の促進

【売上高】

【営業利益】

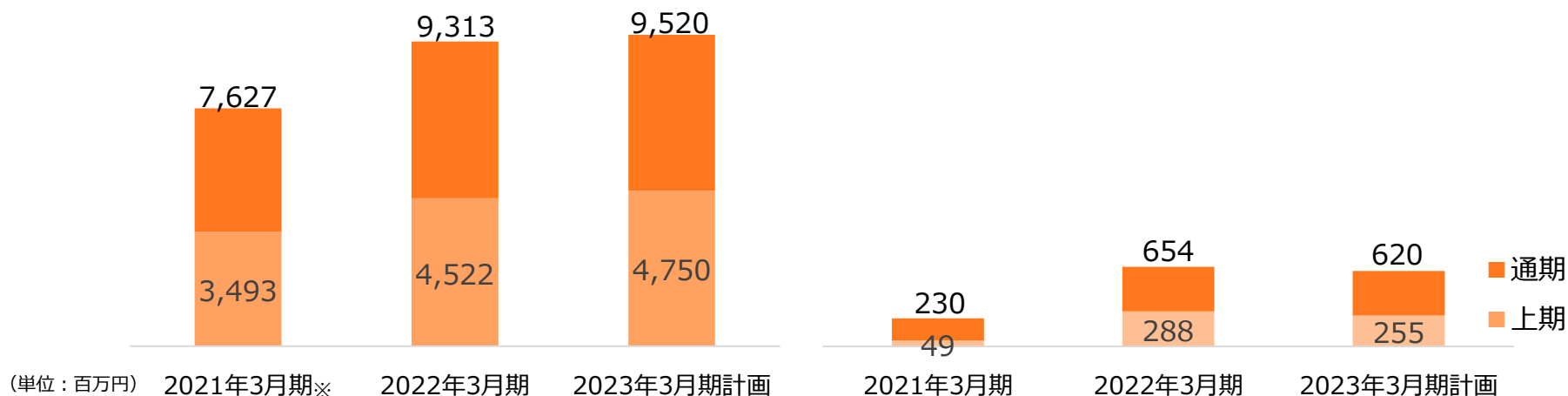


※第1四半期より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等”を適用したと仮定して算定した参考値

エネルギーコストの高騰の影響はあるものの、
 コロナ規制の緩和による人流の回復を受けて増収増益

【売上高】

【営業利益】

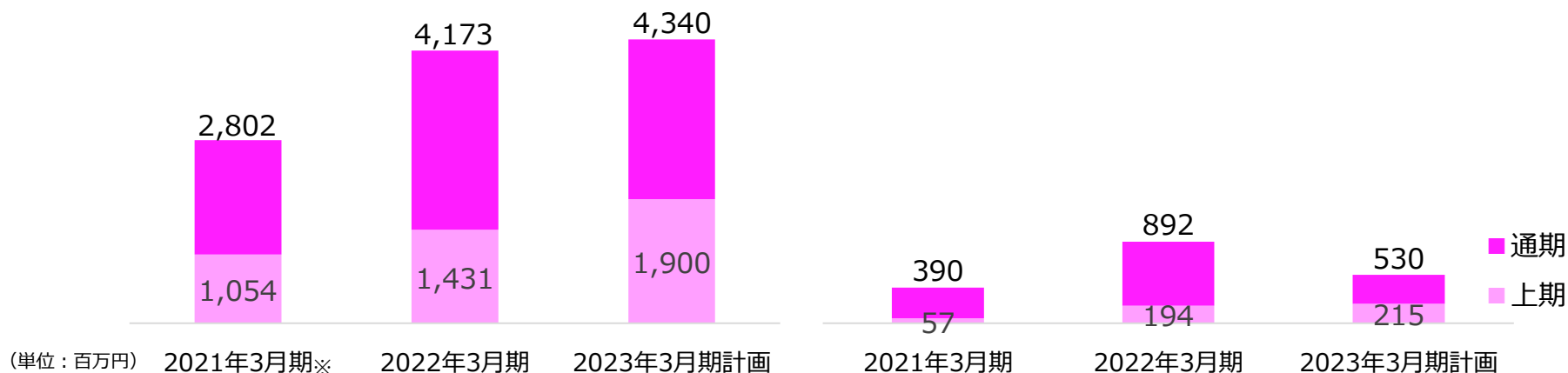


※第1四半期より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等”を適用したと仮定して算定した参考値

半導体用シリコンウェーハ、建機・重機関連の需要は伸長するものの、
 原材料価格・エネルギーコスト、減価償却費等の増加により減益

【売上高】

【営業利益】



※第1四半期より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等”を適用したと仮定して算定した参考値

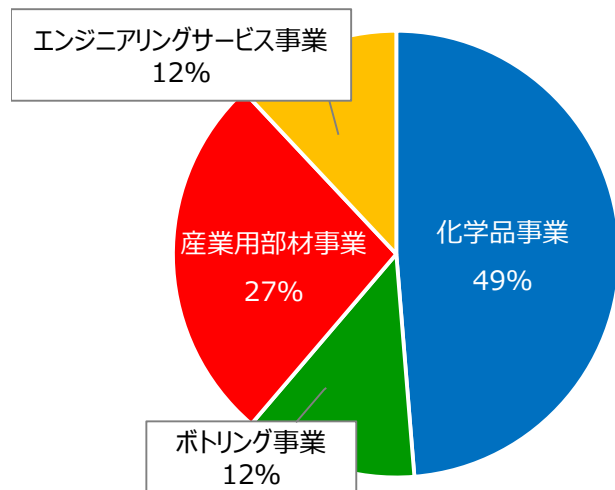
前期においては、塗料販売・塗装工事が大幅な増益に加え、
 建築・設備工事では、グループ内取引の解体工事により増収増益
 これら特殊要因を除けば今期は売上高・営業利益とも微増

IRに関するお問合せ先：
カーリットホールディングス株式会社
広報・サステナビリティ推進部
メール：pr@carlit.co.jp

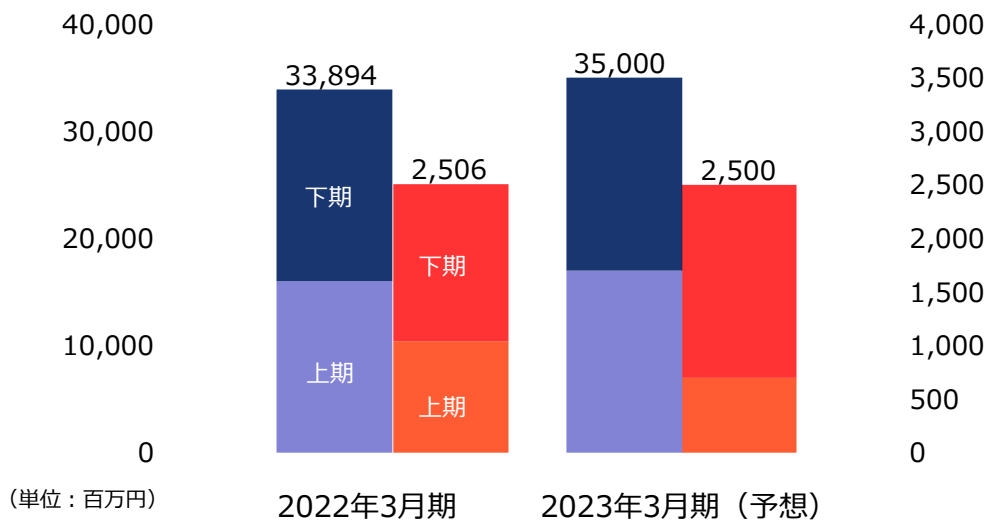
本資料は当社の事業内容、経営戦略、業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は決算データ・会社データについては断りのない場合は2022年3月31日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された見通し等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

本 社	東京都中央区京橋一丁目17番10号	代表者	代表取締役社長 金子 洋文
創 業	1918年	設 立	2013年10月 1日
資本金	2,099,530,000円	従業員数	1,095名 (連結)
発行済株式数	24,050,000株 (1 単元100株)	単元株主数	30,040名

<2022年3月期 売上高構成比>



<売上高・営業利益推移>



(単位：百万円)

	2021年 3月31日	2022年 3月31日	差 異		2021年 3月31日	2022年 3月31日	差 異
資産の部				負債の部			
現金及び預金	5,547	3,768	△1,778	支払手形及び買掛金	5,310	6,217	907
受取手形及び売掛金	10,339	—	△10,339	有利子負債	7,896	4,386	△3,509
受取手形、売掛金 及び契約資産	—	10,145	10,145	その他負債	8,770	8,570	△199
棚卸資産	3,949	4,772	823	負債合計	21,976	19,174	△2,802
その他流動資産	849	2,098	1,248	純資産の部			
有形固定資産	19,874	19,361	△513	株主資本	24,597	26,634	2,037
無形固定資産	83	96	13	その他の包括利益 累計額等合計	4,379	4,269	△110
投資その他の資産	10,248	9,834	△414	純資産合計	28,977	30,903	1,926
資産合計	50,953	50,078	△875	負債純資産合計	50,953	50,078	△875

(単位：百万円)

	2021年3月期	2022年3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,193	3,063
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,135	△984
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,187	△3,981
現金及び現金同等物の増減額	873	△1,906
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,496	3,589